

看護ひろしま

広島県看護協会報

2018
September
No.221

9

平成30年7月豪雨による災害のお見舞いと支援活動について

かがやけ新卒訪問看護師

【ナースセンターだより】

離職した時の届出制度と復職支援のご案内

「国際助産師の日」記念行事レポート

ベテランナースの体験談 信野リエ

支部活動報告～広島東支部、広島西支部、三次・庄原支部

医療安全推進週間のお知らせ

【Information】

2019年度の継続申込のご案内

研修会のご案内



Hiroshima Nursing Association
(公財)広島県看護協会
会員数/合計19,663人
(平成30年9月1日現在)

豪雨による被害のお見舞いを申し上げます

平成30年7月6日の豪雨災害により、広島県内各地では甚大な被害を受けました。被災されました会員の皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

特に、広島市をはじめ三原・尾道支部、呉支部、東広島・竹原支部地域では、被害が大きく復旧の目処が立たないところもあると聞いております。

本会では、7月8日に災害時看護支援本部を立ち上げ、広島県からの災害支援ナースの派遣要請に基づき、各施設に依頼し7月12日から派遣を実施しております。さらに、8月2日からは、日本看護協会から災害支援ナースの派遣協力をいただき避難所における活動を継続しております。今後も関係機関と連携・協力し被災された地域の一日も早い復興に取り組んでまいります。ここに、関係の皆様へ深く感謝しお礼を申し上げます。

公益社団法人 広島県看護協会 会長 川本 ひとみ



広島県看護協会から被災地へ災害支援ナースを派遣しました。



【広島県看護協会災害支援ナース派遣状況】

平成30年8月3日現在の報告

	派遣期間	人数(広島県)		人数(他県)	
		派遣人数	延べ人数	派遣人数	延べ人数
三原市本郷学習センター	7月12日～派遣継続	16名	60名		
小屋浦ふれあいセンター(坂町)	7月12日～派遣継続	8名	30名		
小屋浦小学校体育館(坂町)	7月13日～派遣継続	8名	29名		
坂地区町民センター	7月12日～派遣継続 *8月5日～日看協から派遣	16名	60名		
熊野町民会館	7月12日～派遣継続 *8月5日～日看協から派遣	17名	60名		
海田町福祉センター	7月12日～7月20日(派遣終了)	4名	16名		
呉市天応まちづくりセンター	7月18日～派遣継続 *8月5日～日看協から派遣	12名	44名		
呉市安浦まちづくりセンター	7月18日～派遣継続 *8月5日～日看協から派遣	12名	44名		
熊野町民体育館	8月2日～日看協から派遣継続			2名	4名
計9か所	計	93名	343名	2名	4名

罹災見舞金制度について

広島県看護協会では、会員が広島県内の主たる居住地において、火災、風水害、震災その他これに類する災害によって生活の根拠を失った場合の罹災見舞金制度があり、罹災状況に応じて見舞金をお支払いします。見舞金を受け取るには、「罹災見舞金申請書」に必要事項を記載し、支部長または所属施設代表者(看護管理者等)の証明を受け、会長に提出していただきます。詳しくは広島県看護協会ホームページをご参照下さい。



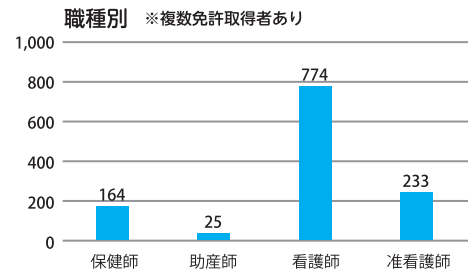
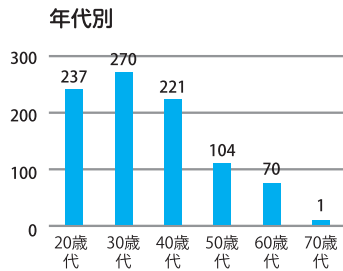
看護師等の離職時等の届出制度とは 《ナースセンターへの届出制度にご協力ください》

少子高齢化が進む中で看護職員の確保を進めるために、平成27年10月1日から潜在看護職員を含めた離職時の看護師等の届出制度です。届出をいただいた皆様には、看護の現場から離れてもナースセンターとつながりを持って、今すぐ就業する意思がなくても、復職に向けた色々な情報や、気軽に参加できるナースカフェなどの交流会等をご案内します。

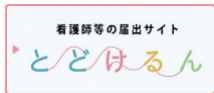
平成29年度は903人の届出がありました。各施設の看護管理者の皆様のご協力に深く感謝します。

届出者の年代は30歳代が最も多く、次に20歳代、40歳代となっています。職種では看護師が最も多く届出をしています。

平成29年度広島県「とどけるん」届出状況



届出の方法について



看護管理者の皆様から届出票(青色)を届けていただいておりますが、さらに、スマートフォンやパソコンから、届出サイト「とどけるん」に入力して現住所のナースセンターに届け出ることになります。(届け出られた情報はナースセンターの外部に提供されたり、外部で利用されたりすることはありません。)



復職支援事業

ブランクがあり再就業に不安がある方は、各種研修を随時受けることができます。平成28年度の研修受講後の就業率は9割以上。平成29年度も7割の方が県内の病院、訪問看護ステーションに就業しています。

研修先は今年度は、県内107の病院と、86の訪問看護ステーションにご協力いただいております。

■いきいき子育てママのナースカフェ

看護協賛無料 託児サービスあり

撮影協力: 興生総合病院

いざいざ子育てママのナースカフェ

参加施設一覧:

- 10月12日 興生総合病院
- 10月13日 興生総合病院
- 10月14日 興生総合病院
- 10月15日 興生総合病院
- 10月16日 興生総合病院
- 10月17日 興生総合病院
- 10月18日 興生総合病院
- 10月19日 興生総合病院
- 10月20日 興生総合病院
- 10月21日 興生総合病院
- 10月22日 興生総合病院
- 10月23日 興生総合病院
- 10月24日 興生総合病院
- 10月25日 興生総合病院
- 10月26日 興生総合病院
- 10月27日 興生総合病院
- 10月28日 興生総合病院
- 10月29日 興生総合病院
- 10月30日 興生総合病院
- 10月31日 興生総合病院

■復職支援研修 (事前研修)

あなたは大切な人材だから...



写真: 広島大学病院

看護職のお仕事相談は・・・

看護職の就業相談員による無料職業紹介事業を行っています。仕事を探す看護職や看護学生のみなさんの就職への不安や悩みなど、さまざまな相談を受け付け、条件に合った職場と一緒に探します。ライフサイクルにそった“看護職の働きたい”をサポートします。出張相談では、県内10か所のハローワークや、市町で就業相談を行っています。

復職に向けた準備として、履歴書の書き方、面接のポイントなどの講習会の再就職支援セミナーを開催しています。



ナースセンターのホームページから、「eナースセンター」に求職求人登録をいただくと、インターネットやスマートフォン上でナースセンターによる無料職業紹介を利用することができます。

職業安定法改正のお知らせ (平成30年1月1日施行) 職業安定法が改正され、eナースセンターの求人票も変更されています。

求人施設のみなさまへ

【労働条件を明示】労働条件の明示が求人登録時、労働契約締結時に必要です。

追加等された事項

雇用形態、試用期間の有無と内容、裁量労働制の有無と内容、固定残業代の有無と内容、選考方法及び選考結果の通知方法

【求人施設による早期離職状況の登録】無期雇用就職者の6か月後の就業状況をナースセンターに報告が必要です。

求職者のみなさまへ

求人票の変更内容を確認し、就職活動を行ってください。

ご連絡をお待ちしています

「ふれあい看護体験2018」のご協力ありがとうございました。

(「ふれあい看護体験2019」の実施設募集につきましては、12月中旬頃に会員施設の施設代表者様宛に募集案内を送付いたします(翌年1月中旬募集受付締め切り))

※広島県ナースセンターは県知事から指定を受けた看護職員確保の公的拠点として、看護協会員に関係なく看護職であればだれでも利用できます。



かがやけ新卒訪問看護師

広島県看護協会は、新卒訪問看護師の人材確保と育成に取り組んでおり、新卒訪問看護師育成マニュアルを作成し、新卒訪問看護師の育成を進めています。今年度、新たに入职した3名の新卒訪問看護師を紹介します。訪問看護師としてスタートして半年、単独で療養者を訪問することもできるようになりました。療養者の笑顔と優しく頼りになる先輩看護師たちに支えられながら、信頼される看護師を目指し、今日も元気に頑張っています。

「島がええ」という想いを支える

訪問看護ステーションおおさき 看護師 吉屋 寿則

離島・大崎上島。この島に訪問看護師として就職し、3か月が経ちました。きっかけは、学生時代の島での課外活動の経験からでした。「島は何もないけど、やっぱり最期は島がええ」という島民の声を聴き、「島での最期を支えたい」、そう感じたからです。

現在は先輩看護師との同行を基本とし、ときには単独で利用者宅を訪問しています。利用者や家族の生活に入り込み、寄り添うことの難しさを実感し、苦戦する日々が続きます。本人の望みを叶えられるよう「自宅で最期の一瞬まで一人ひとりと向き合う」ことの大切さに気づき、島での訪問看護にやりがいや楽しさを感じています。

先輩看護師、利用者や家族、さらには島という地域から多くを学べる環境に感謝し、今後も“若さ”を武器に、看護師として、さらには人として成長していきたいです。

新卒での訪問看護を離島において実践する看護師はそういませんが、今後、“島(地域)が好き”という想いをを持った仲間が一人でも増えることを期待しています。



島のみんなと一緒に

訪問看護ステーションおおさき 管理者 澤田 千津穂

新卒新人看護師として当ステーションに吉屋看護師が入職し3か月が経過しました。

他の人たちから「経験がないのに大丈夫なのか?」と反対意見も多くありましたが、彼の希望が強く、話し合った結果受け入れることにしました。

振り返ってみると「どうしたらいいのか?新卒・男子…」と悩むことばかりでした。今まで指導経験の少ない私は「一緒にやる・話をする」を心掛け、県看護協会での指導者育成研修会で教わったマニュアルも活用しています。

島の訪問看護はマニュアル通りにはいきません。固有

のやり方があると思うのです。島の人たちは色々な意味で先生です。

島独特の雰囲気味わって島の行事にも積極的に参加して島民の一員になってほしいと思います。

大崎上島で訪問看護がしたいと島に来た吉屋看護師をみんなで応援していきます。

大崎上島の現状

大崎上島は人口約7,700人弱、島民の半数が65歳以上という超少子高齢化と過疎の離島です。島内の医療施設は5か所、入院が可能な施設は1施設のみです。高度医療が必要な時は、島外の病院に頼るしかありません。国の在宅療養推進により、入院後すぐに退院調整に入りますが、大崎上島では思うようにはいかないのは仕方ないことです。

くらしの中の訪問看護

広島赤十字・原爆病院訪問看護ステーション 看護師 柴原 恵

4月に訪問看護ステーション勤務が決まったときの飛びあがりたほどの嬉しさは、これからも忘れることはないでしょう。それから3か月が経ったいま、先輩の訪問に同行しながら新しい学びの毎日です。

家には、そこに住んでいる方の時間が流れています。それぞれのお家には、利用者さんのこれまでの人生があり、五感でそれを感じます。利用者さんやご家族の思いを理解し、受けとめることは簡単なことではありませんが、「家」という場所が助けてくれているように思います。

訪問先ではケア用品もお家の物で代用するなど工夫があります。治療の最先端ではなくても、病气やけがと暮らしの中で付



き合っていく、その日々の中にある訪問看護です。療養は特別な時ではなく、生活の中にあると学びました。

訪問先では「毎週〇〇さんが来てくれるから、安心なのよ。」という利用者さんにたくさん出会いました。いつか、そのような訪問看護師に私もなれたらと思っています。

訪問看護の醍醐味を一緒に味わいましょう!!

広島赤十字・原爆病院訪問看護ステーション 管理者 森山 薫

超高齢化社会において、看取りの場の確保は国の喫緊の課題です。以前は訪問看護師になるには、「まずは急性期病院に勤務後」が標準的な考えでしたが、看護の活躍の場が地域に広がり、当院にも採用試験の時点で「訪問看護師になりたい」という入職希望者が年々増えている現状があります。

柴原さんは、学生最後の実習で当訪問看護ステーションに実習に来た際、「私でも訪問看護師になれるのでしょうか」と相談を受け、今に至っています。

同行訪問するなかで、新卒訪問看護師ならではの新

本当に必要なケアとは何か、人が生きるということはどういうことか一緒に考えましょう。訪問看護の仕事は奥が深く、やりがいのある現場です。「看護師になって良かった!」と思わせてくれる瞬間が、訪問看護にはたくさんあります。厳しくもあり、楽しく、一緒に頑張りましょう。

鮮な発見が、先輩看護師にはとてもよい刺激を与えてくれます。本人やご家族が大切にされている軸は何かを把握し、寄り添う姿勢が常にありますので、利用者からの信頼もあります。落ち着いた雰囲気は柴原さんの強みで、利用者さんに安心感を与え、頼もしく思っています。



広島赤十字・原爆病院訪問看護ステーションの皆さん

やりがいの実感と学びの日々

広島県看護協会訪問看護ステーション「こい」 看護師 小林 百恵

私が訪問看護師に興味を持ったのは、学生実習で関わった患者さんの退院後の生活が気になるようになり、そして就職を考える際に在宅での療養生活を支える看護師になりたいと思ったからです。

訪問看護の実際は、教科書には書かれていない学びと感動がたくさんあります。共に病气と向き合いながら、利用者様やご家族の意向に沿った看護を考えていくこと、多職種の方と協力しながら在宅生活をサポートすることはとてもやりがいを感じます。知

識面や技術面では足りない部分が多く、悩むこともあります。困った時は職場の先輩方が相談に乗って下さり、日々の振り返りで疑問を残さずに進むことができています。日々の積み重ねが自信となり、初めの頃よりも落ち着いて訪問に行けるようになり、何気ない会話をするゆとりもできました。

私を受け入れて下さっている療養者・家族への感謝の気持ちを忘れずに、これからも笑顔で頑張ります。



新卒看護師を受け入れて

広島県看護協会訪問看護ステーション「こい」 管理者 道法 和恵

私たちの訪問看護ステーションに、新卒の訪問看護師が入職し半年が過ぎました。20代の新しい風が吹き、ステーションの雰囲気も変わってきました。

日々の業務では、療養者と丁寧に接し、一生懸命に看護している姿を見て、「初心にかえるよね」と、自分たちが新卒の頃を懐かしく振り返っています。

新卒訪問看護師を指導する中で、役立っていると感じるのは、新卒訪問看護師育成マニュアルです。

このマニュアルに沿って、広島県看護協会での研修、広島赤十字・原爆病院での新人集合研修、日本赤十字広島看護大学で

の研修へ参加し、日々研鑽を重ねています。

「毎日が勉強」「やろうと思えばいくらでも学ばなければいけないことはある」と本人も張り切っています。研修で学んできた知識を、カンファレンスで他の職員へ伝達し、訪問看護の質の向上にも彼女が一翼を担っています。

多くの訪問看護ステーションで、新卒の訪問看護師の受け入れが進み、新卒の輪が広がるよう期待しています。



広島県看護協会訪問看護ステーション「こい」の皆さん

「めざせイクメン!パパとママの育児教室」を開催

助産師職能委員会委員 渡邊 聡美 (日本赤十字広島看護大学)



助産師から沐浴の方法を学ぶ

「国際助産師の日」記念行事は、県民に対し助産師の活動に対する理解を深めてもらうことを目的に毎年開催しています。

今年度は、5月13日(日)に福山市・まなびの館ローズ

コムで「めざせイクメン!パパとママの育児教室」をテーマに開催し、11組のご夫婦の参加がありました。「妊娠中から産後の生活(ママの一日)」について助産師職能委員会が説明した後、「やってみよう・体験してみよう」、「ペア胎児ケア」では新生児人形の抱っこやオムツ交換などを実際に体験してもらいました。

参加者のみなさんから「妊婦ジャケットは旦那さんに体験してもらうことで妊婦のしんどさが伝わったと思

う」、「沐浴の方法がわかった」、「少し産後の不安が解消され、楽しみになってきた」、「絵本はゆっくりした時間を過ごすことができ、いい時間だった」などの感想がありました。

助産師職能委員会としても「助産師が、質のよいケアで未来を拓く」ということを体験するよい機会となりました。



妊婦ジャケットを着て妊婦を体験する参加者

ベテランナースの 体験談

触れることの大切さ



広島医療生活協同組合 広島共立病院
看護師 信野 りえ

私は現在緩和ケア病棟へ勤務しています。2018年、リンパ浮腫セラピストの資格を取得しました。緩和ケア病棟に入院している患者さんは浮腫で悩む方が多く、学んだ事を浮腫の改善に役立てたいと思っていました。

しかし、緩和ケア病棟へ入院される方は浮腫の改善には至らないことが多く、介入に消極的になっていました。そんな時、浮腫のある患者さんの手を触った際「あったかくて気持ちいい」と言われ、気持ちいいと感じてもらっただけでもいいのではないかなと思えるようになり、手や足、背中など短時間でも触れるようにしました。多くの患者さんが気持ちいいと喜ばれ、緩和ではこれでいいんだ、と思えるようになりました。

20年以上看護師をしてきて、こんなにも患者さんに触れることがあったらどうかと振り返り、今回リンパ浮腫を学んだことで看護の基本でもある手で触れることの大切さを思い出す事が出来てよかったと思います。今後もこの気持ちや気づきを忘れず、看護師を続けていきたいと思っています。

広島東支部



会員交流会を開催!

広島東支部長 西谷 春美 (医療法人社団 輔仁会 太田川病院)

広島東支部では、会員交流事業として、4月21日(土)に「自分でできるリンパマッサージ」というテーマで講習会を開催いたしました。講師のリンパ浮腫療法士の看護師さんに実践指導して頂きながら、和やかな雰囲気の中で、体も心もリフレッシュし、有意義な時間を過ごすことが出来、大変好評でした。

今年度の支部活動として、会員の方や地域の方々に関心を持っていただけるような、活気ある活動を展開していきたいと思っております。

広島西支部



地域の方へ役立つ支部活動を目標して

広島西支部長 浜川 広子 (医療法人社団 初仁会 松田病院)

広島西支部は西区と佐伯区が一つになって支部活動を行っております。中でも毎年、各区民まつりに「まちの保健室」を出店しております。骨密度の測定や健康相談、今回は「誤嚥性肺炎にご注意!」のパンフレットを配布し、肺炎予防、交互嚥下を始めましょうと、チラシで説明しながら配布しました。説明が間に合わないほど盛況で、100人以上の方に呼びかけることができ、特に高齢者の方は聞き入ってくださいました。地域の方々の健康への関心の高さを感じました。

三次・庄原支部



疾病予防と健康相談を「高齢者サロン」で開始!!

三次・庄原支部長 野田 宏美 (市立三次中央病院)

今年度から常設型「まちの保健室」を地域の2か所の高齢者サロンで、月1回開催しています。第1回目を6月11日に開催し、四師会で作成された誤嚥性肺炎防止の冊子を活用してのお話と参加者の方々からの相談を受けました。お薬の飲み方、肺炎ワクチンの事、お酒やたばこの事など、健康に対する関心の高さが伺えました。専門職として高齢者のニーズに応じた「まちの保健室」になっていくよう活動を続けていきたいと思っています。

医療安全推進週間のお知らせ

期間 平成30年 11月25日~12月1日



厚生労働省は平成13年から毎年、11月25日(いい医療に向かってGO)を含む期間を「医療安全推進週間」と定め、「患者の安全を守るための医療関係者の共同行動」と「国民の理解と認識を深める」ことを目的として開催を推奨しています。広島県看護協会も平成15年から医療安全推進週間の取り組みを開始し、毎年各施設から活動の報告をして頂いています。

昨年度の取り組み紹介

東広島医療センター

医療安全管理部会が中心となり、(医療安全推進週間)期間中に「誤認防止のんたワッペン」を装着して誤認防止活動を行いました。のんたは酒処西条のマスコットキャラクターです。

のんたワッペンには、50作品から選ばれた標語「フルネーム患者を守る 合い言葉」の言葉が書かれており、患者さんもワッペンに関心を持ち、「誤認防止キャンペーン」に協力的に参加されました。



広島市立リハビリテーション病院

医療安全推進週間には毎年、患者さんを対象とした医療安全研修会を開催しています。

平成29年度は各病棟で、「内服について」「転倒・転落防止」の2点をテーマに患者向け研修会を実施しました。

入院患者の半数以上の方が参加され、関心の高さがうかがえました。

【内服】降圧剤と血液凝固剤について説明



【転倒・転落】予防のために、自分の体を知る・環境設定の重要性



2019年度の継続申込について

11月中旬に順次施設宛、個人会員宛に「**2019年度継続のお知らせ**」が届きます。施設代表者の方は会員に配布をお願い致します。

記載事項をご確認いただき、会員情報に変更がない場合は、**提出は不要**です。すでに退職された会員の申請書が含まれていましたら、お手数ですが、広島県看護協会へ返却してください。

2018年度については、随時受付しております。

12月には2019年度の継続申請が始まりますので、**2018年10月31日までに手続きをお済ませください。**



めざせ! キャリアアップ /

研修会のご案内

●継続教育部からのお知らせ

平成30年度は、**申込期間**を下記のとおり設定いたします。

■申込方法 **A** の研修会

研修開催月	申込期間	研修開催月	申込期間
11月	9/1~9/20	平成31年1月	11/1~11/20
12月	10/1~10/20	2月	12/1~12/20
		3月	1/1~1/20

※申込方法B・Cおよびその他の研修は、各研修の申込期間をご確認ください。

■申込方法 **A** の研修会

開催日時・会場	研修会名	申込期間
12/18(火)、19(水)、全2日 <福山> 県民文化センターふくやま 9:50~16:00	No.27-1 人工呼吸器装着患者の看護の基礎知識 <福山>	10/1 ~10/20
12/3(月) 9:50~16:00	No.73 看護におけるリフレクション	
12/19(水) 9:50~16:00	No.82-1 プリセプターシップの理解<広島>	11/1 ~11/20
12/20(木)<福山> 県民文化センターふくやま 9:50~16:00	No.82-2 プリセプターシップの理解<福山>	
H31.1/18(金) 9:50~16:00	No.24 在宅における感染管理	
研修会開催日を変更しました H31.1/19(土)<福山> 県民文化センターふくやま 9:50~16:00	No.26-2 がん症状マネジメント<福山>	11/1 ~11/20
H31.1/22(火)、23(水) 全2日<広島> 9:50~16:00	No.27-2 人工呼吸器装着患者の看護の基礎知識 <広島>	

※掲載分以外の研修会や詳しい研修内容・研修領域・研修段階(能力項目を含む)等は、広島県看護協会ホームページ(<http://www.nurse-hiroshima.or.jp/>)または「平成30年度広島県看護協会教育計画」をご確認ください。

※申込方法Aは必ず協会指定の払込取扱票(申込方法A専用)をご利用ください。記入漏れにご注意ください(研修日、受講動機など)。

※申込期間後に定員に満たない研修は、定員に達するまで受け付けますので、必ず空き状況をお問い合わせのうえ、お申込みください。

※(広島)もしくは会場明記がない場合…(広島県看護協会)
(福山)…各研修の【開催日時・会場】欄を確認してください。

*広島県看護協会以外への直接のお問い合わせはご遠慮ください。

*駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

平成30年度から研修受講履歴管理が始まりました!

研修受講時には、**会員証**(プラスチック版)を必ずご持参ください。



■申込方法と受講料納入方法

	申込方法
A	協会指定の払込取扱票で受講料を納入(1名1研修につき1枚の払込取扱票が必要)
B	申込用紙BをFAXまたは郵送(様式はホームページで入手可能)
C	申込用紙Cと返信用封筒(82円切手貼付:長形3号)を郵送→選考後に受講料を納入

■申込方法 **C** ・その他の研修会

開催日時・会場	研修会名	申込期間	参加条件・その他	申込方法
H31.1/24(木) 9:20~15:30	No.101 看護補助者の活用推進研修会 ※DVD使用による研修	4/1~ 11/24	中間看護管理職以上	C 郵送 受付
H31.1/30(水) 9:50~16:00	No.102 医療コンフリクト・マネジメント	4/1~ 11/30	医療安全管理担当者	C 郵送 受付
H31.2/2(土)、3(日) 全2日 9:50~16:00	No.25 禁煙支援ナース研修	4/1~ 12/2		C 郵送 受付
H31.2/16(土)、17(日) 全2日 9:50~16:00	No.28 周術期看護	4/1~ 12/16		C 郵送 受付
H31.2/6(水)、7(木) 全2日 9:20~16:00	No.75 災害支援ナース育成研修	9/1~ 11/30	①会員②実務経験年数5年以上の現職③「災害支援ナースの基礎知識」(H28)、「災害支援ナースの第一歩」(H29、H30)のいずれかの受講修了者(修了証のコピーを添付)④看護管理者の推薦がある者⑤研修修了後、広島県看護協会の災害支援ナースとして登録可能な者	専用 申込書 郵送 受付
H31.2/8(金) 9:50~16:00	No.76 災害支援ナースフォローアップ 研修	9/1~ 11/30	広島県看護協会災害支援ナース登録者	専用 申込書 郵送 受付

研修会名を訂正しました!

開催日時・会場	研修会名
10/9(火) 9:50~16:00	No.52 非がん患者の緩和ケア ~呼吸器疾患を中心に~ ⇒ No.52 非がん患者の緩和ケア ~慢性呼吸不全患者の例をととして~

研修会開催日を変更しました!

研修会名	変更後		変更前	
	開催日時	申込期間	開催日時	申込期間
No.26-2 がん症状マネジメント<福山>	H31.1/19(土) 9:50~16:00	11/1~11/20	11/10(土) 9:50~16:00	9/1~9/20
No.78 地域包括ケアと看護職の役割	10/13(土) 9:50~16:00	8/1~8/20	10/6(土) 9:50~16:00	8/1~8/20



大河の一滴 ~ 表紙の写真 / 宇品波止場公園(広島市南区) ~

今年度の広島県看護協会機関紙の表紙テーマは「大河の一滴」です。大河の一滴という意味を調べると色々な意味がありますが、私の中で印象に残ったのは「人間は社会、あるいは歴史という大河の中の一滴にすぎない。ただその一滴一滴の立場にすればそれぞれ思いのままに、そして懸命に生きている」という意味でした。私たちが出会う患者さんも社会の中の一滴、一滴であり、病気になる前、なった後も色々な背景や思いを抱えていることを忘れずに寄り添っていきたいと思います。(山本 愛)

発行所
公益社団法人広島県看護協会
〒730-0803 広島市中区広瀬北町9-2
TEL.(082)293-3362
発行責任者 川本 ひとみ
編集 広報委員会
制作 有限会社パル